

『農力検定』のいままで&これから



2012年7月11日

 **農力検定**



2010年グリーンニューディール準優秀提言 受賞

都市生活者の農力向上委員会

のり 農力検定

財政赤字が膨らむ中、日本に必要な政策は「**経済成長に頼らない最小不幸社会の構築**」

- ・過疎地域を農育フィールドにしまおう！
- ・お百姓をインストラクターにしまおう！
- ・自給共生力UPで会社に依存しない生活を！

- ・農家への現金収入補填
- ・農山村での雇用創出
- ・自給共生で食料自給率UP
- ・過疎地域の活性化

財政支出に頼らない地方と弱者の再生！

＊詳しくは、



経済成長に頼らない最小不幸社会の構築

バラマキに陥らない地方と弱者の再生



農力検定

- ・過疎地域を農育フィールドにしてしまおう！
- ・お百姓をインストラクターにしてしまおう！
- ・自給共生力UPで会社に依存しない生活を！

リオ + 20 の収穫

ウルグアイのムヒカ大統領いわく



貧乏なひととは、無限の欲があり、
いくらあっても満足しない人のことだ

環境問題の本質は、

エコフット < 地球であれば、世界は持続可能。



© Monty Python



現在のエコフットは地球の1.4倍とも。



経済発展競争は国家間の浪費合戦！？



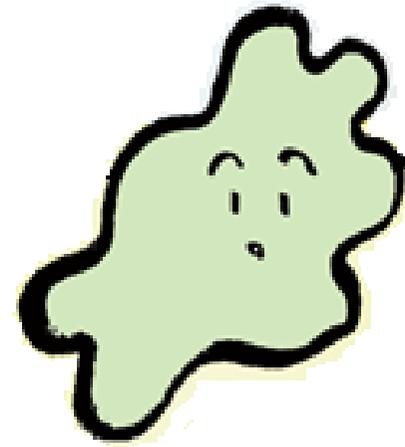
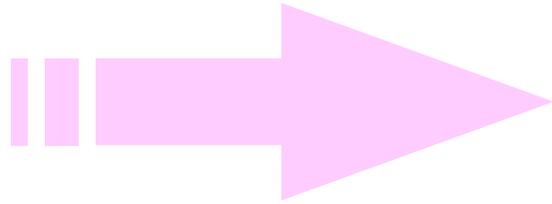
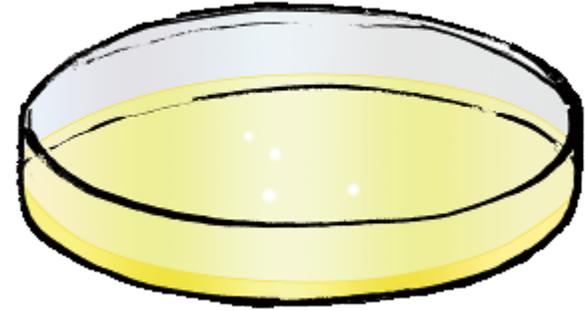
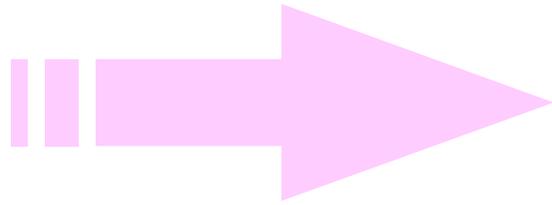
- * 国土が広く
- * 資源が豊富で
- * 国民が貪欲な

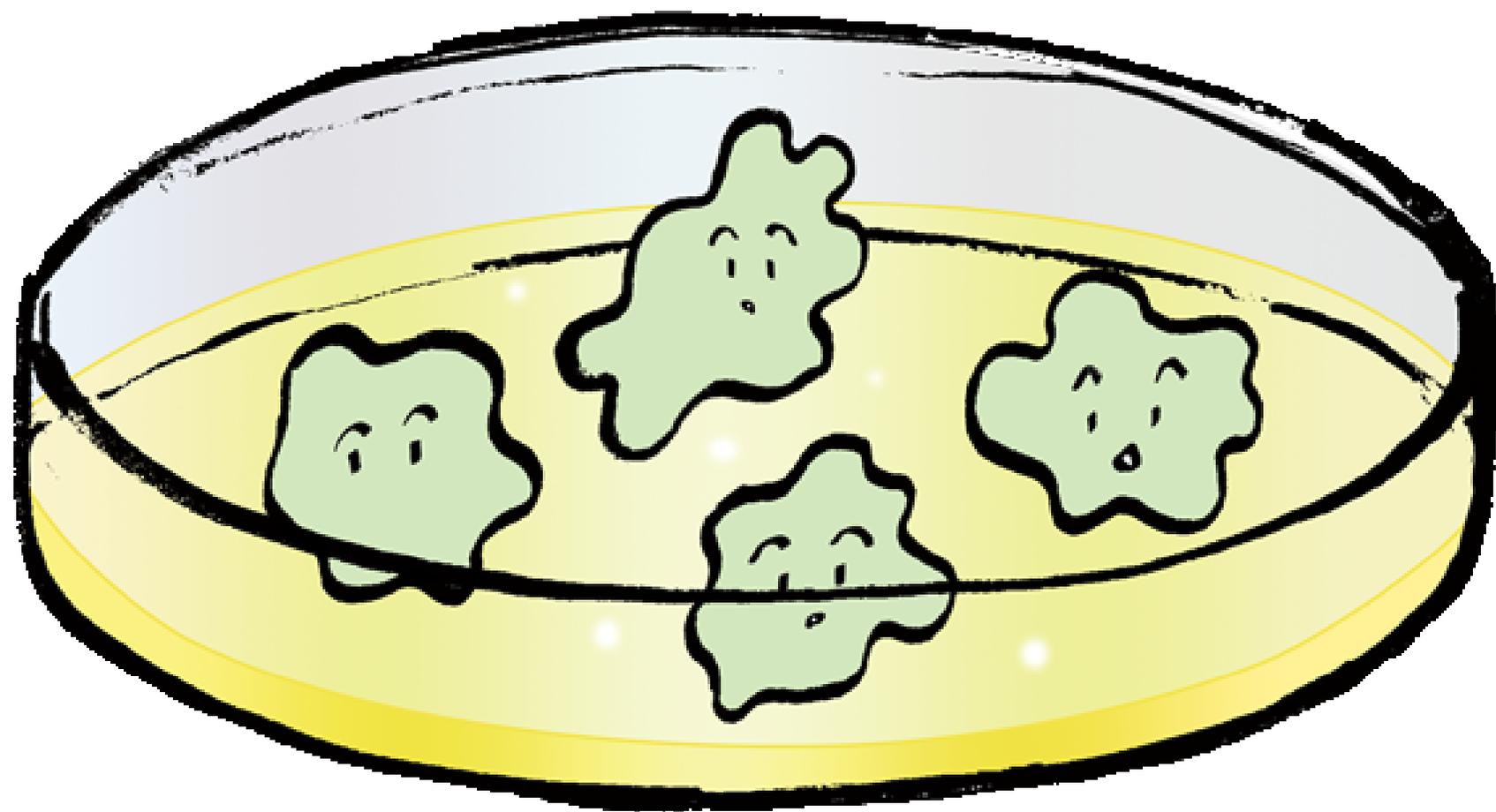
国が勝つ？

地球は、いつまでパンクせずに耐えられるのか？

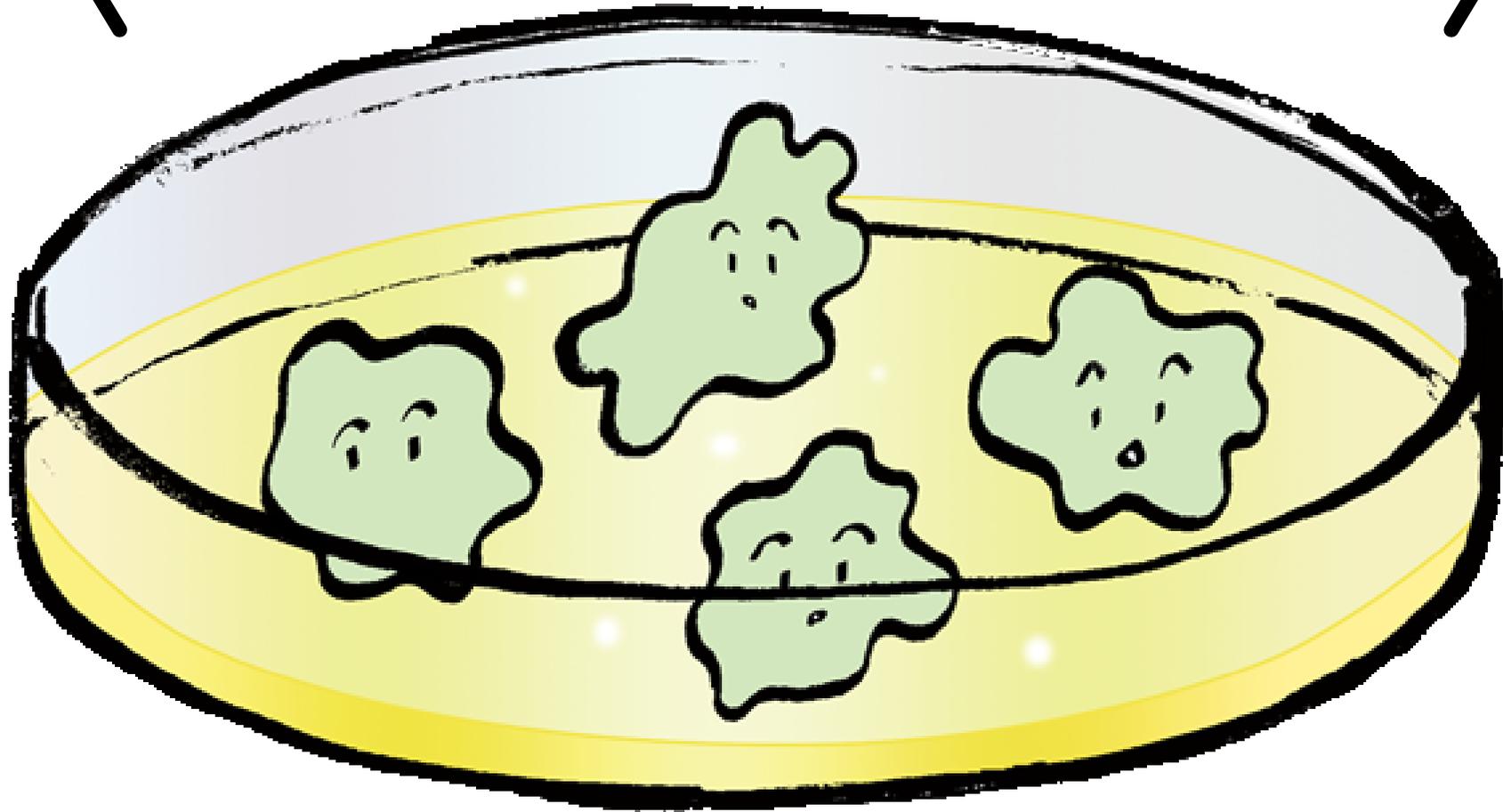


単純に考えれば、

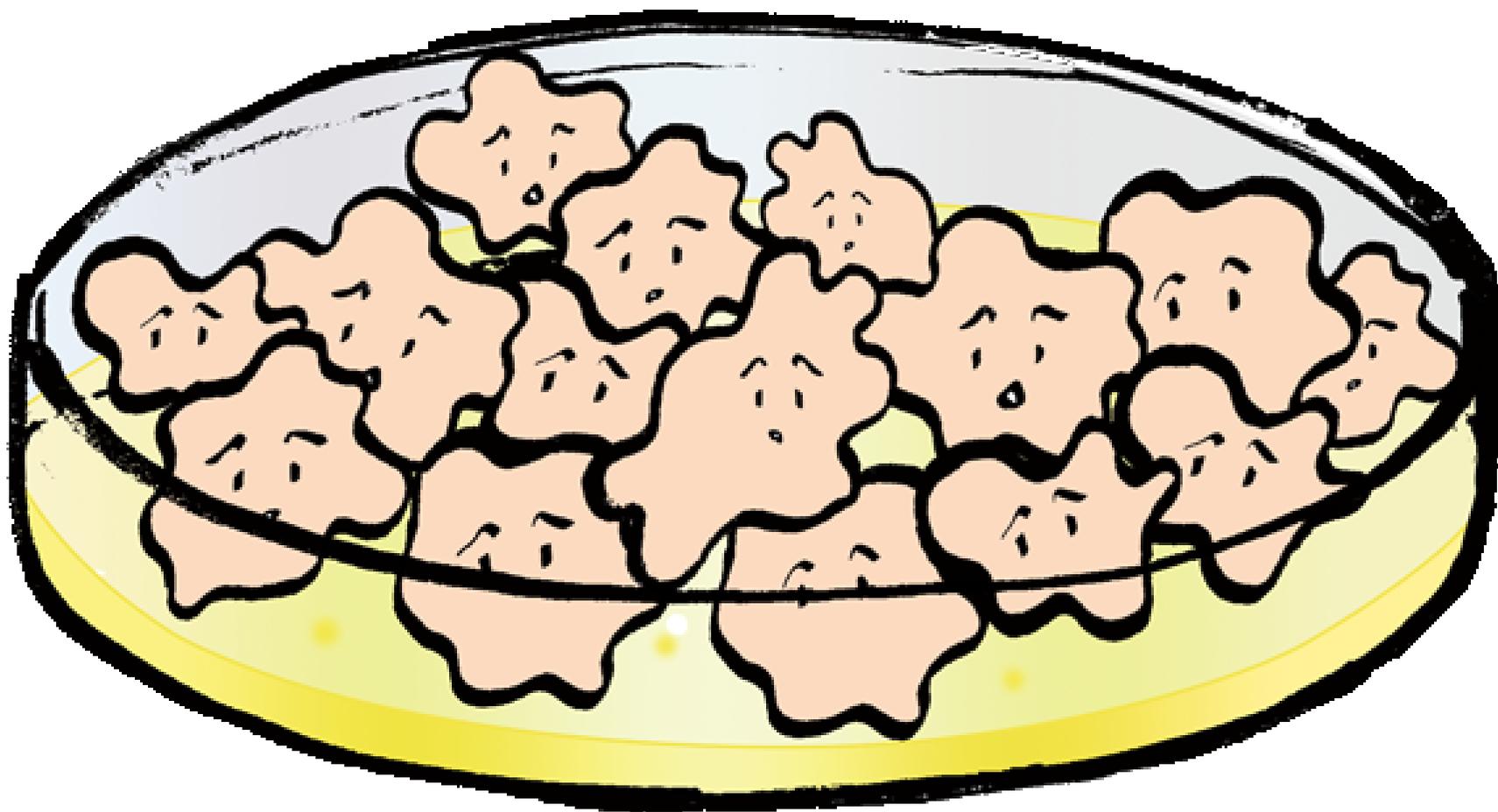




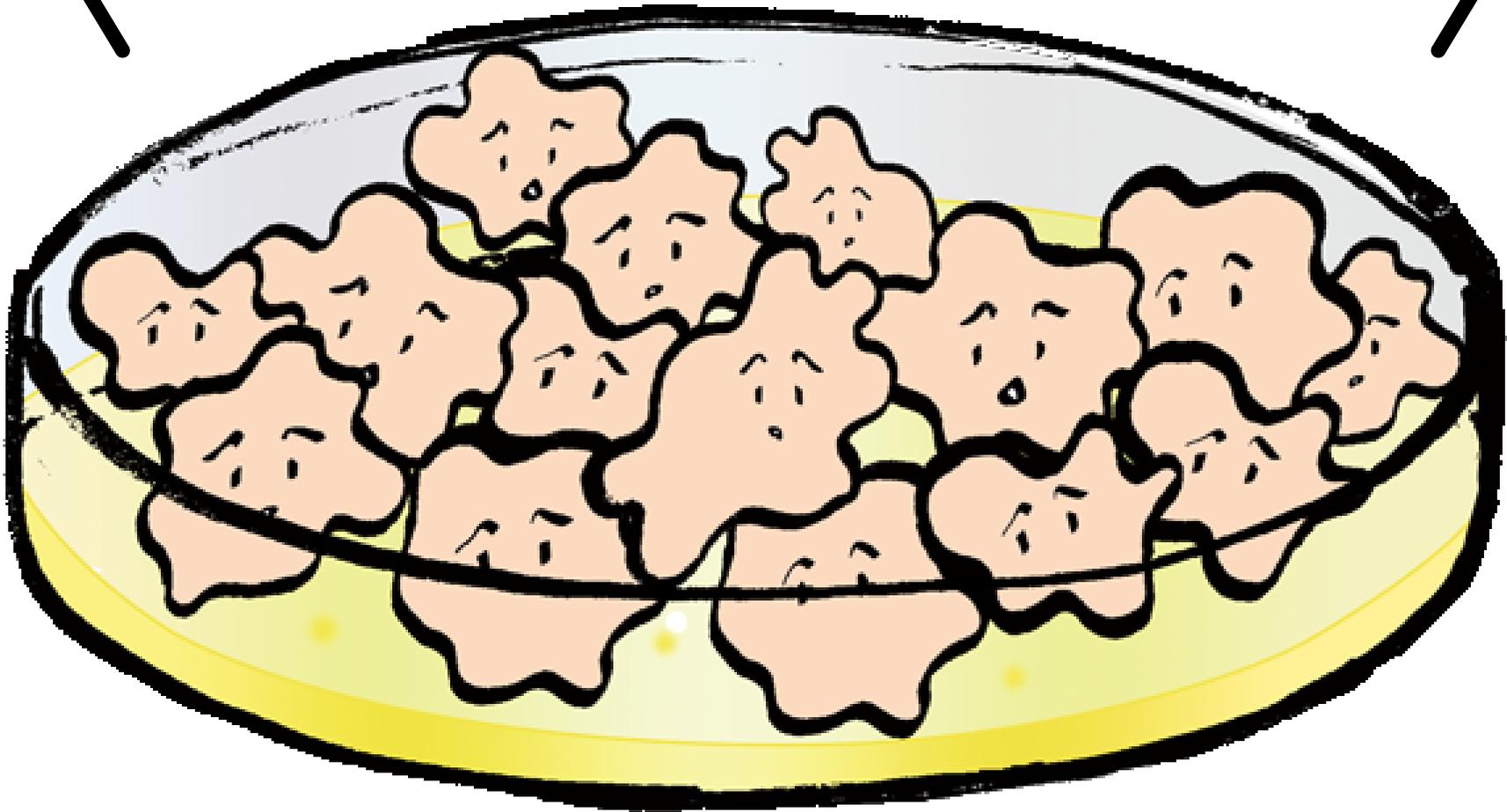
産めよ、増やせよ、地に満ちよ！



< オールサム社会：成長 幸福 >



だれかの成長は、だれかの困窮！

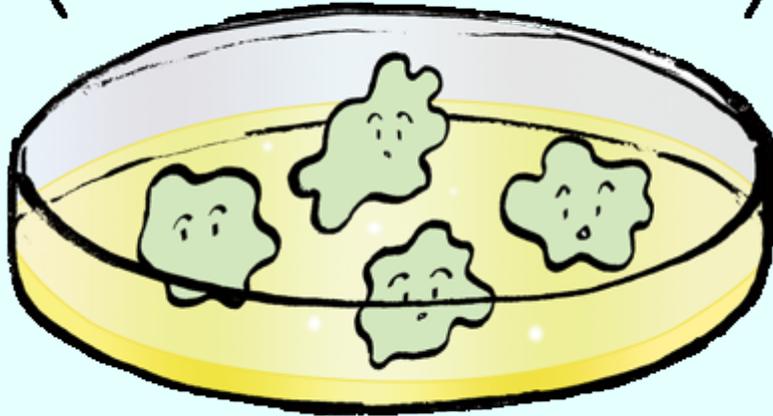


< ゼロサム社会：成長 破裂 >

* この構造変移こそ、直面している「パラダイムシフト」に他ならない。

成長の余地があった時代
成長 幸福で良かった。

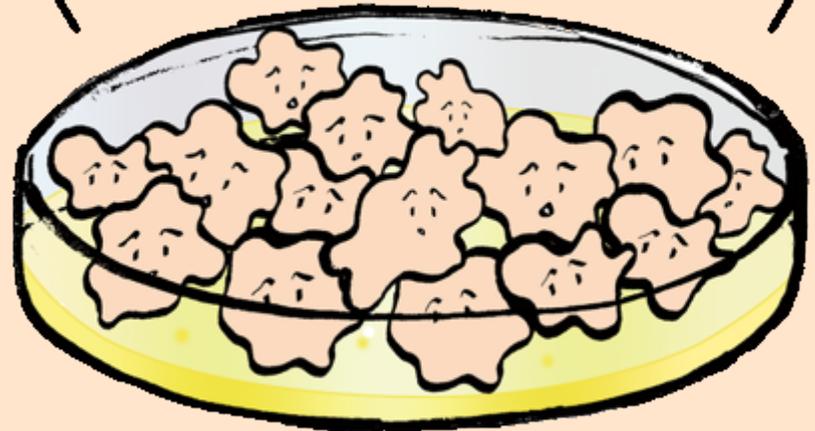
産めよ、増やせよ、地に満ちよ！



<オールサム社会：成長⇌幸福>

パラ
ダイ
ム
シ
フ
ト

だれかの成長は、だれかの困窮！



<ゼロサム社会：成長⇌破裂>

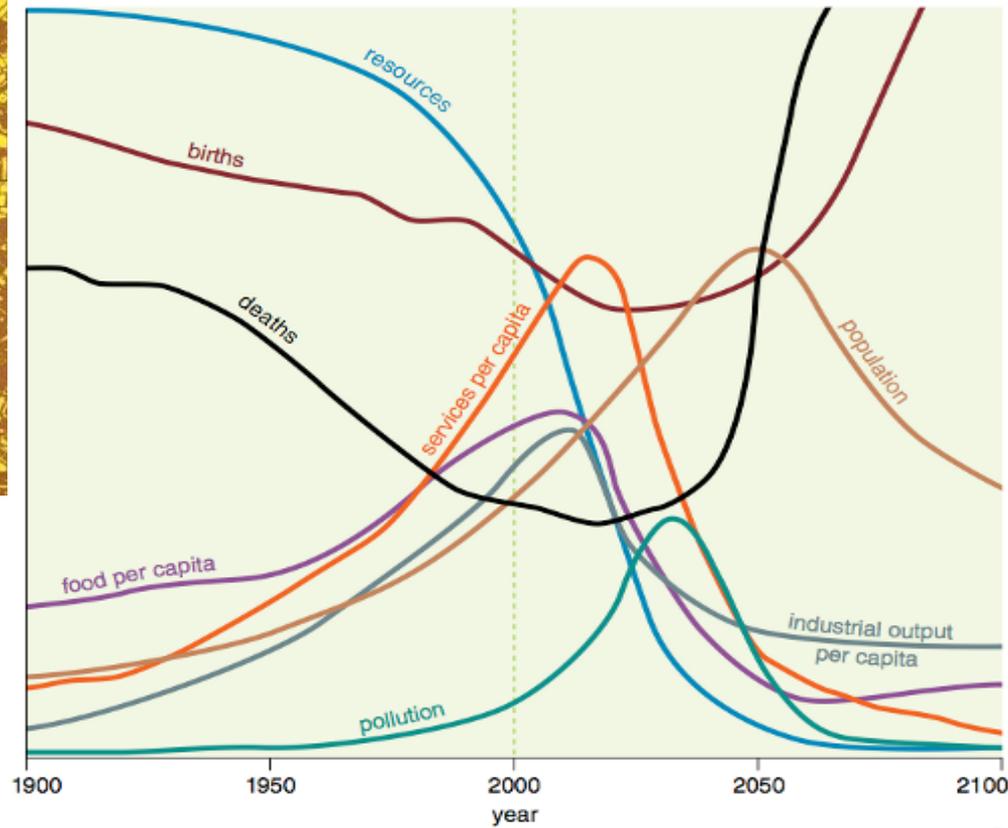
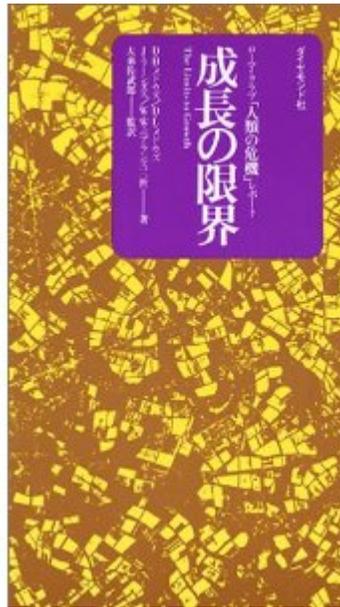
成長の限界に直面している時代
分配 幸福でないで奪い合いに陥る。

0.0

エコロジカル・フットプリント = 1.0 の分岐点

つまりそれが、

シャーレ内の増殖限度 = 成長の限界

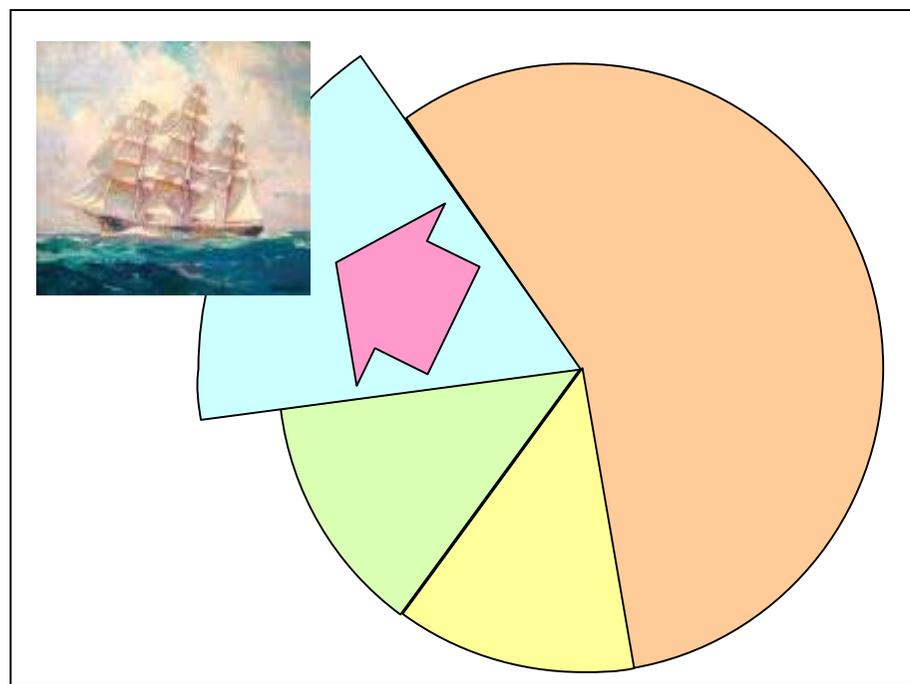


市場経済に潜むゼロサム社会の不幸

* ブルーオシャン

オールサム = 成長余地あり

右肩上がり市場



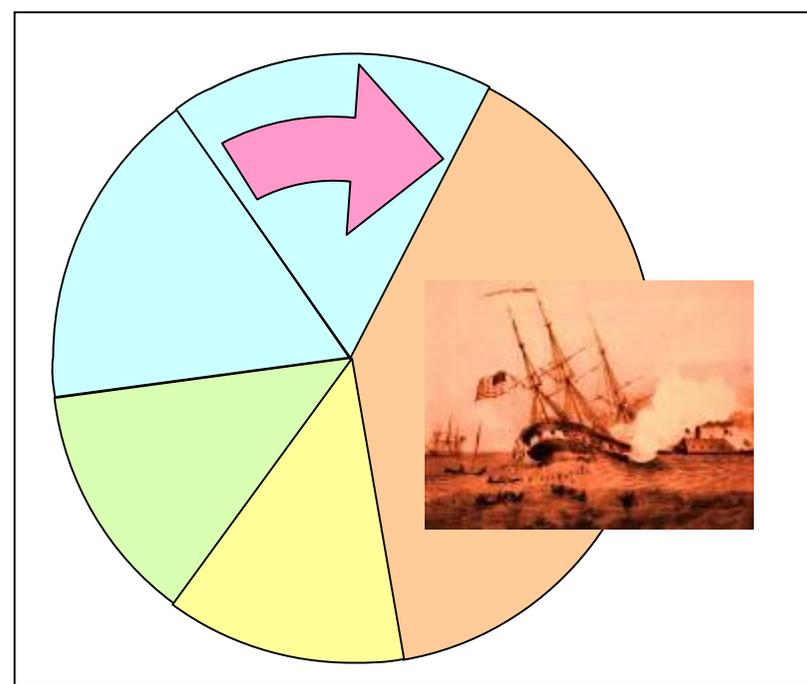
* 供給 < 需要

生産性向上は富の拡大再分配へ。

* レッドオーシャン

ゼロサム = 成長余地なし

パイの奪い合い市場



* 供給 需要

生産性向上は失業と倒産を生む。

市場経済社会の末路は地球のオーバーフロー。

コストパフォーマンスを競う弱肉強食の生存競争

~ ~ ~ ~ ~ 法 ~ ~ 令 ~ ~ ~ ~ 遵 ~ ~ 守 ~ ~ ~ ~ ~

弱者からの収奪

自然からの収奪

将来からの収奪

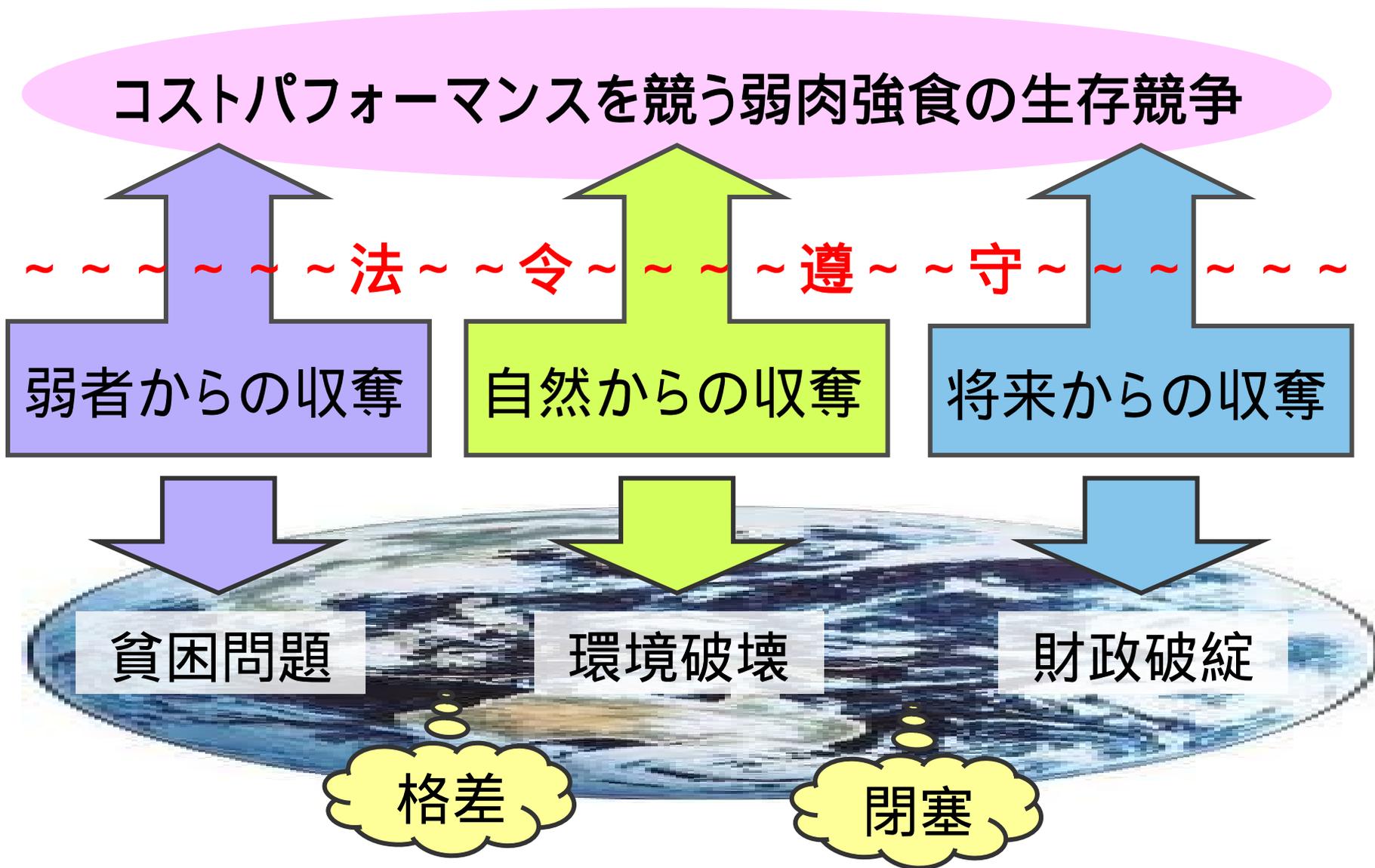
貧困問題

環境破壊

財政破綻

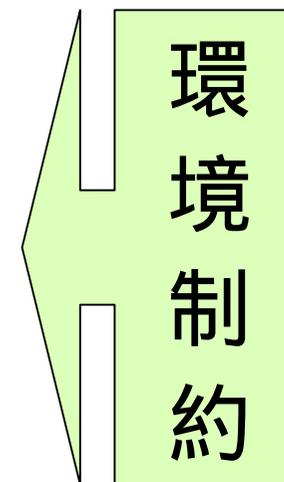
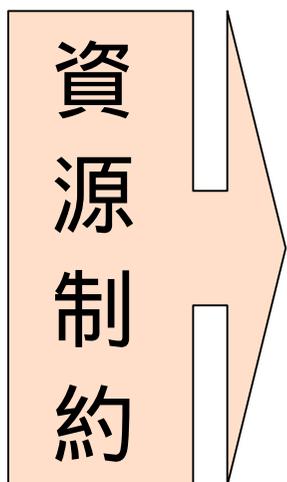
格差

閉塞



地球の持続可能性を蝕む素足の正体

経済成長し続けなければ不幸をばら撒く市場経済システム



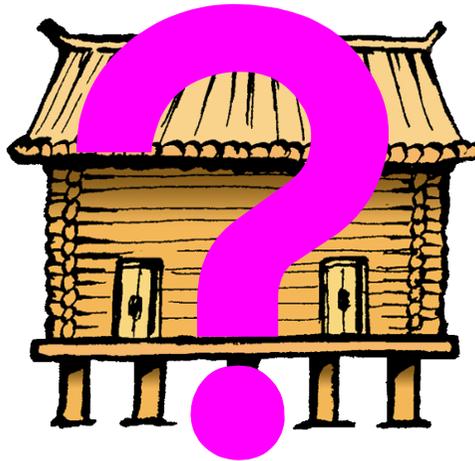
突き詰めれば、

今まで、私たちが「富」と考えていたものは？



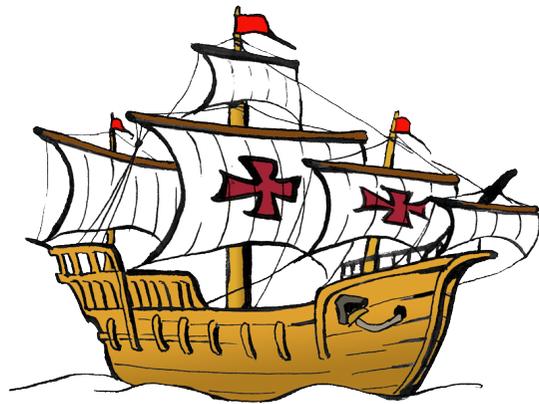
今まで、私たちが「富」と考えていたものは？

「自然から削り取ったモノ」



今まで、私たちが「富」と考えていたものは？

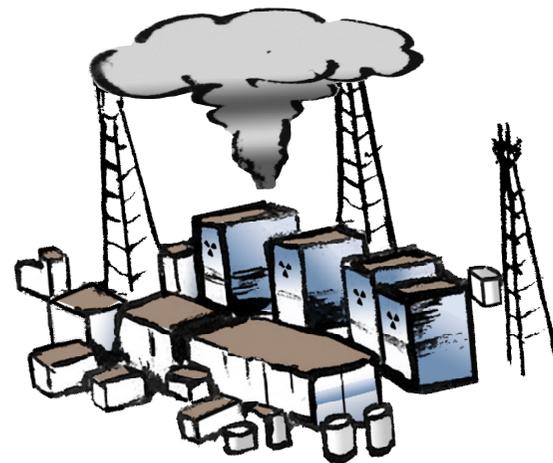
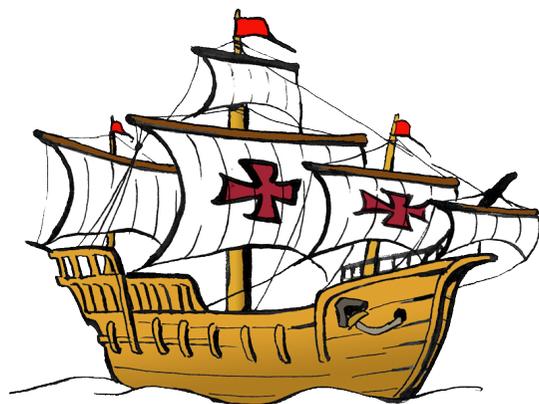
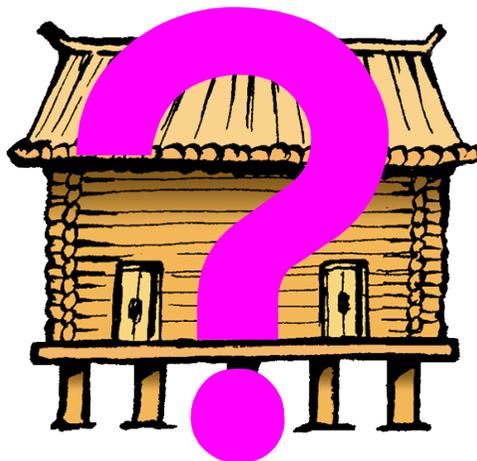
「自然から削り取ったモノ」



「弱者にしわ寄せして得たモノ」

今まで、私たちが「富」と考えていたものは？

「自然から削り取ったモノ」



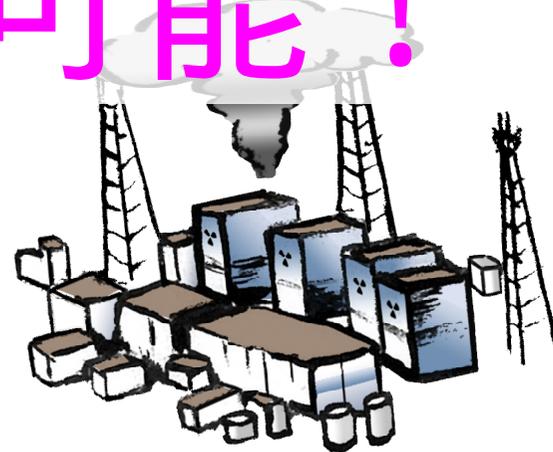
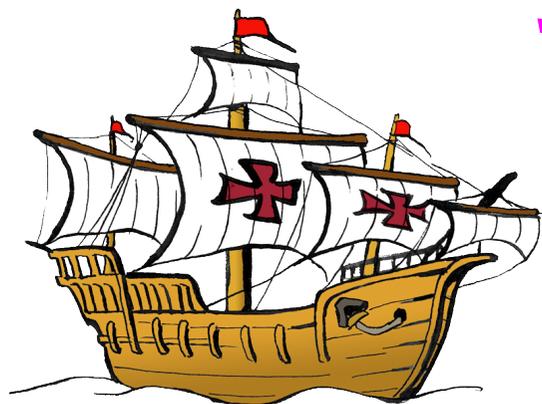
「弱者にしわ寄せして得たモノ」 「将来にツケを廻して前借りしたモノ」

今まで、私たちが「富」と考えていたものは？

「自然から削り取ったモノ」



持続不可能！



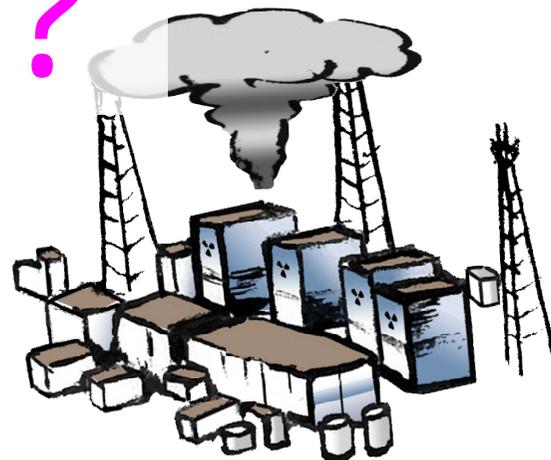
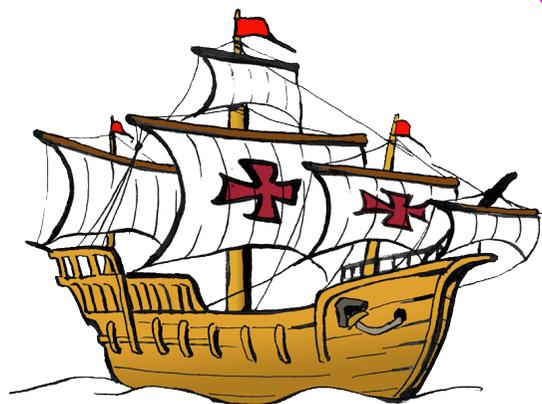
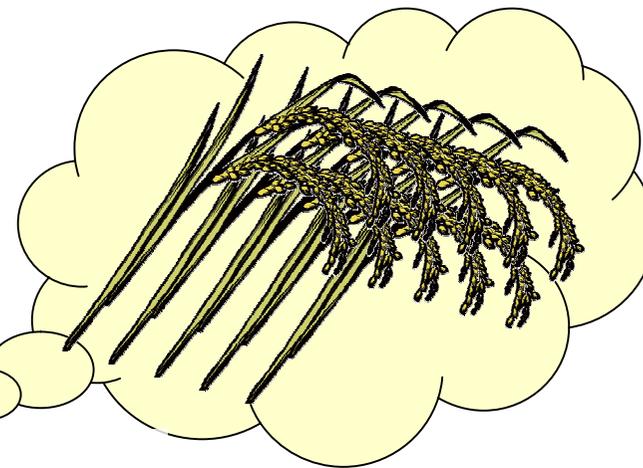
「弱者にしわ寄せして得たモノ」 「将来にツケを廻して前借りしたモノ」

今まで、私たちが「富」と考えていたものは？

「自然から削り取ったモノ」



本来は？



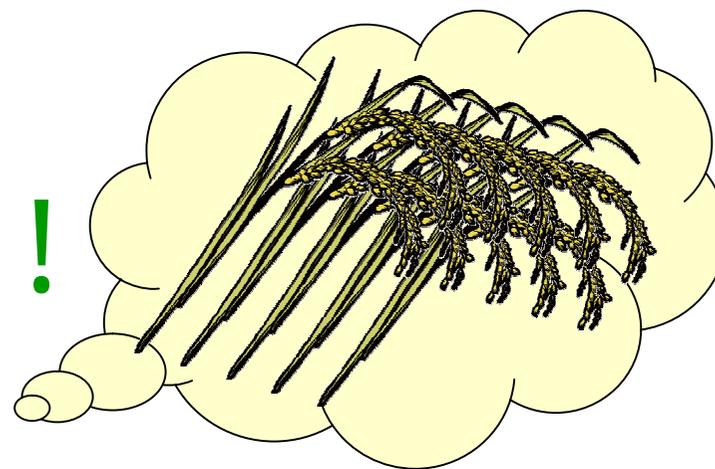
「弱者にしわ寄せして得たモノ」 「将来にツケを廻して前借りしたモノ」

持続可能な豊さの源泉は、植物にあった。

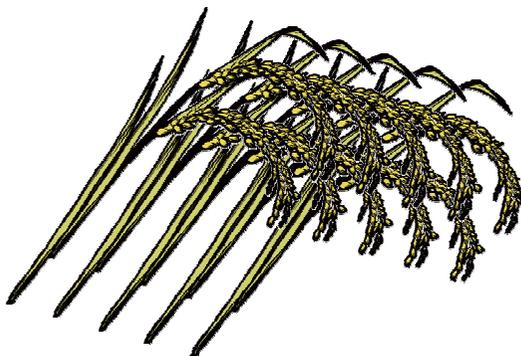


本来の「富」とは？

植物の余剰繁殖力！

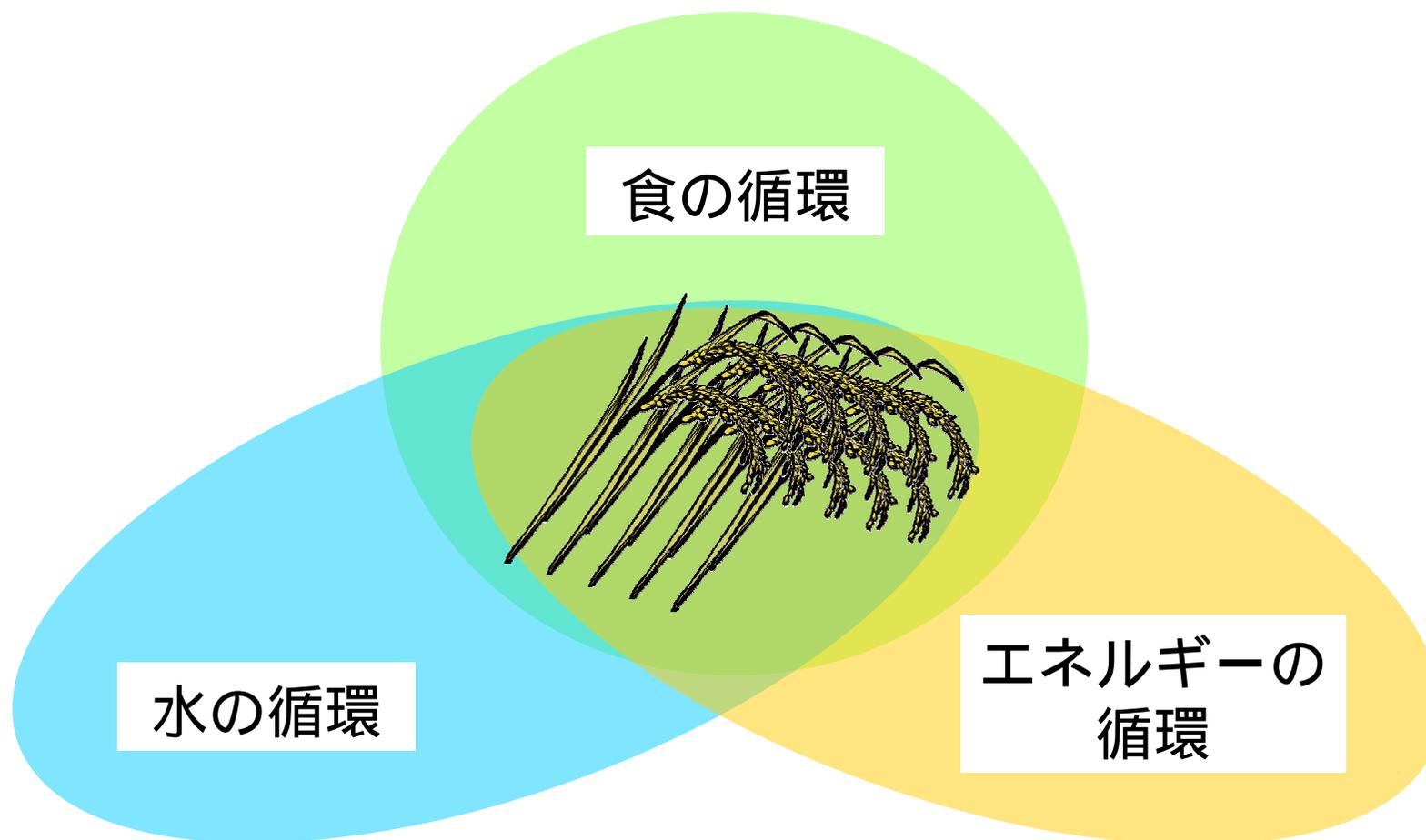


なのに、今の農業はあまりに石油依存！



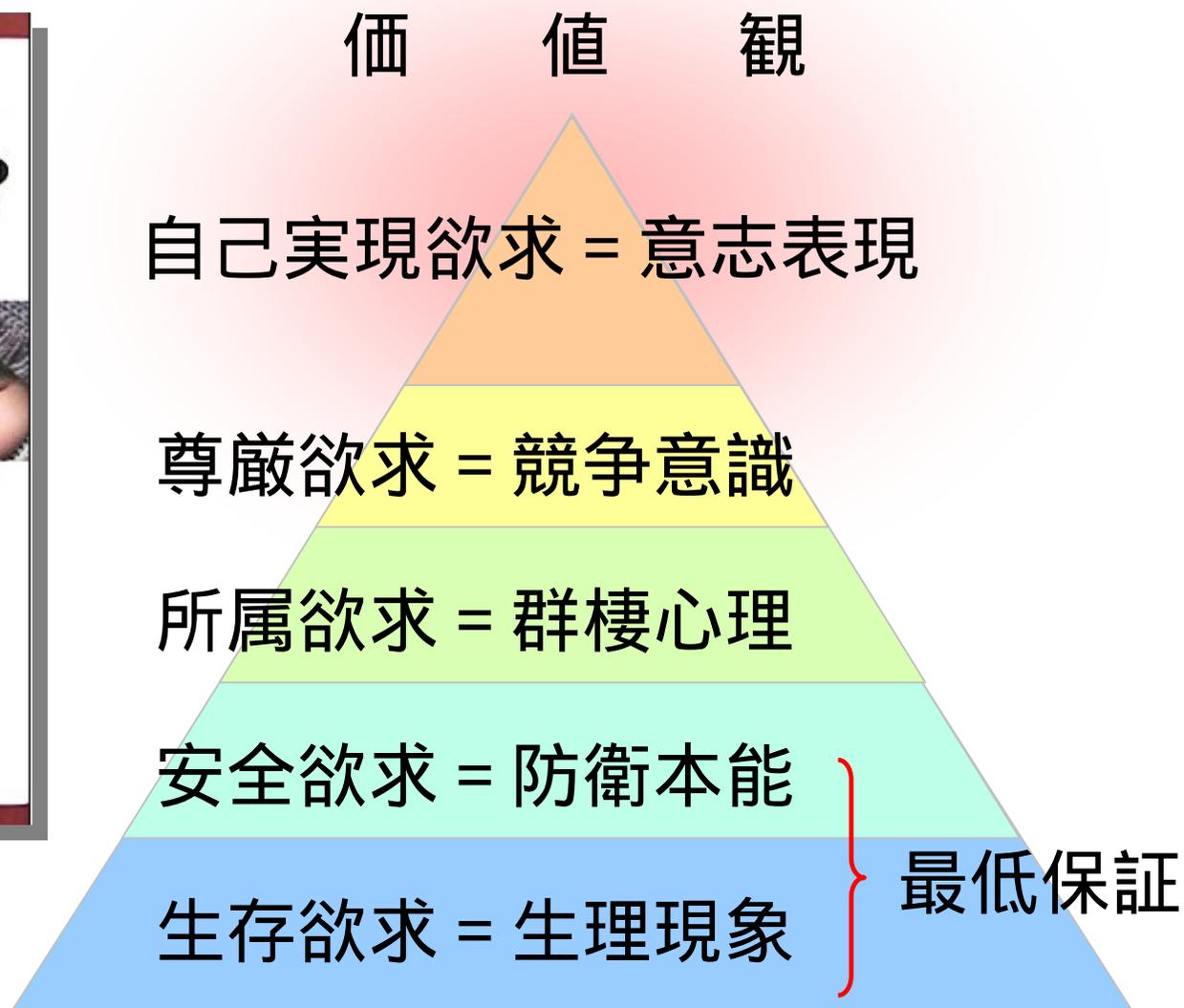
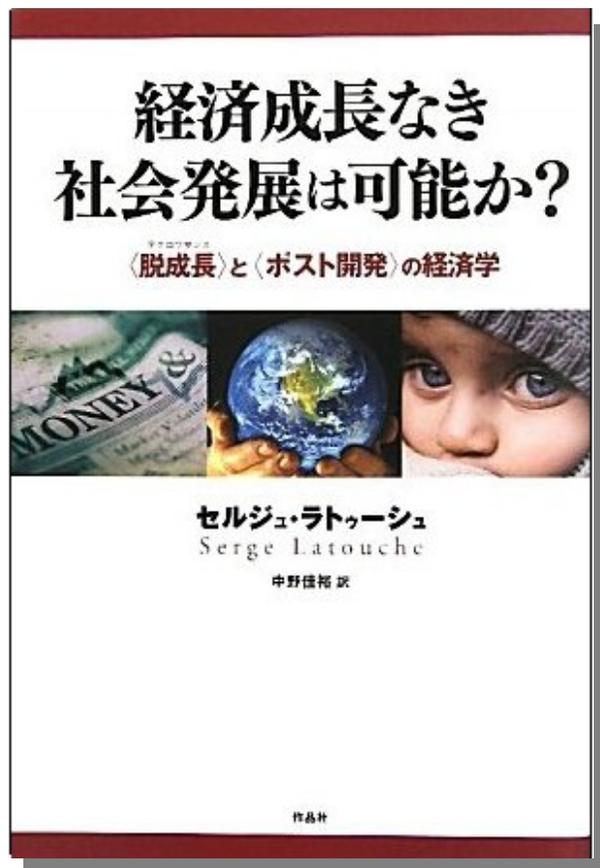
目指すべきは、

足さない、引かない、換えない循環型有機農業



持続可能社会への唯一の可能性！

打開策は経済成長に頼らない最小不幸社会の実現。



ところで現状は、



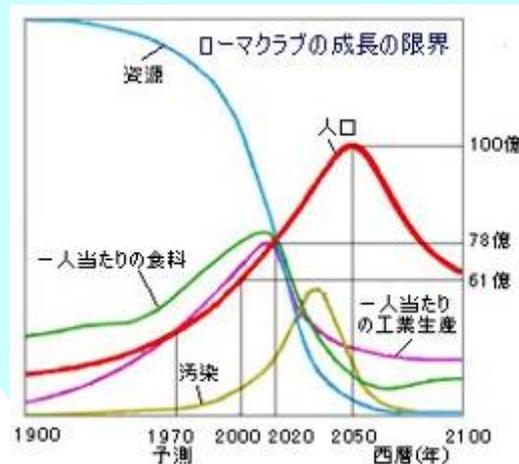
社会は、右肩上がりな経済成長の限界に直面

* 資源枯渇

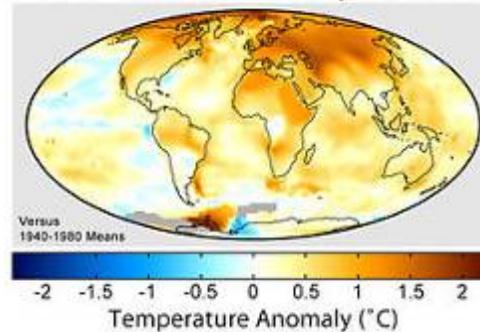


= トリプル・クランチ =

* 経済崩壊



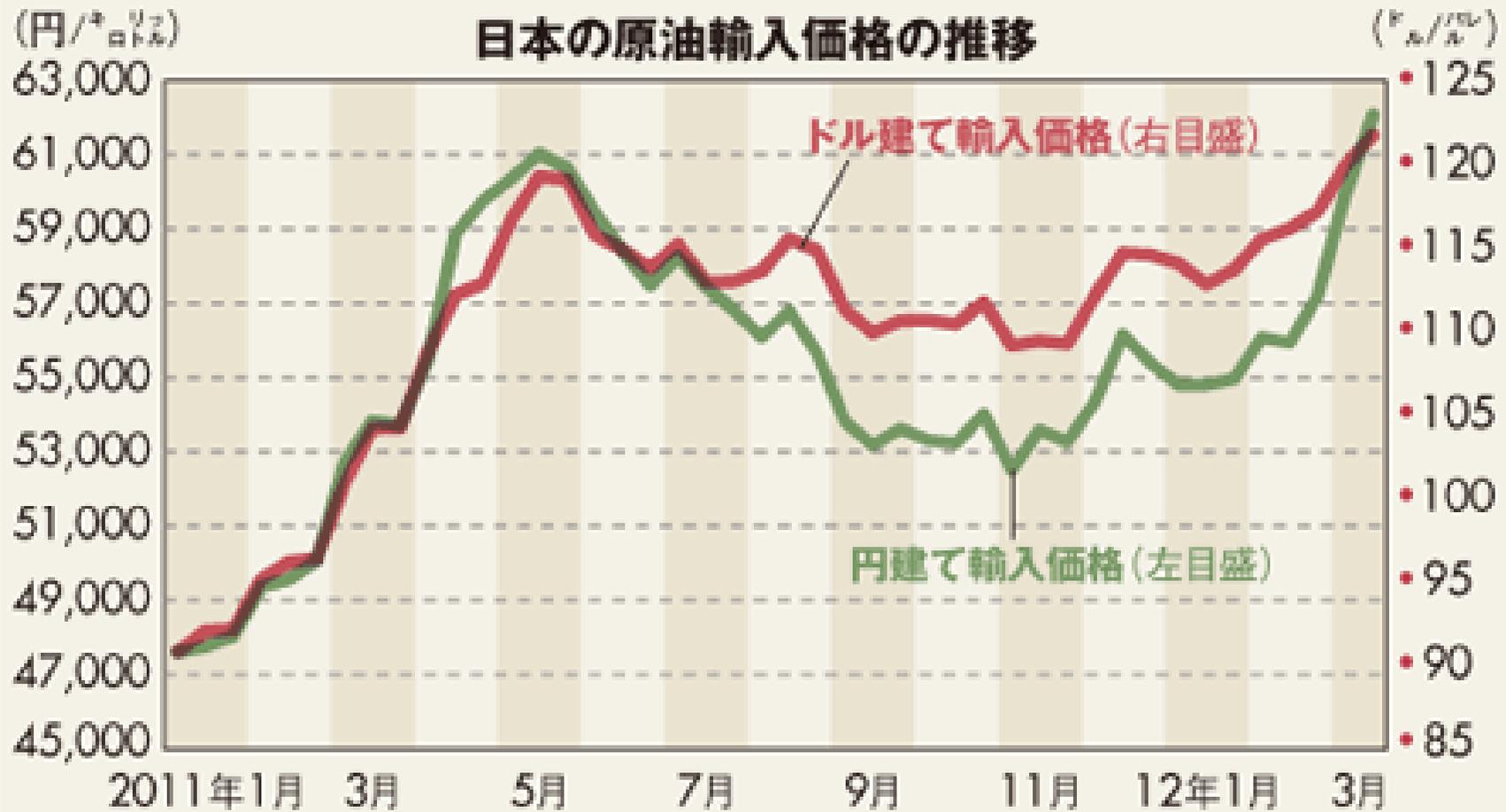
1999-2008 Mean Temperatures



* 気候変動

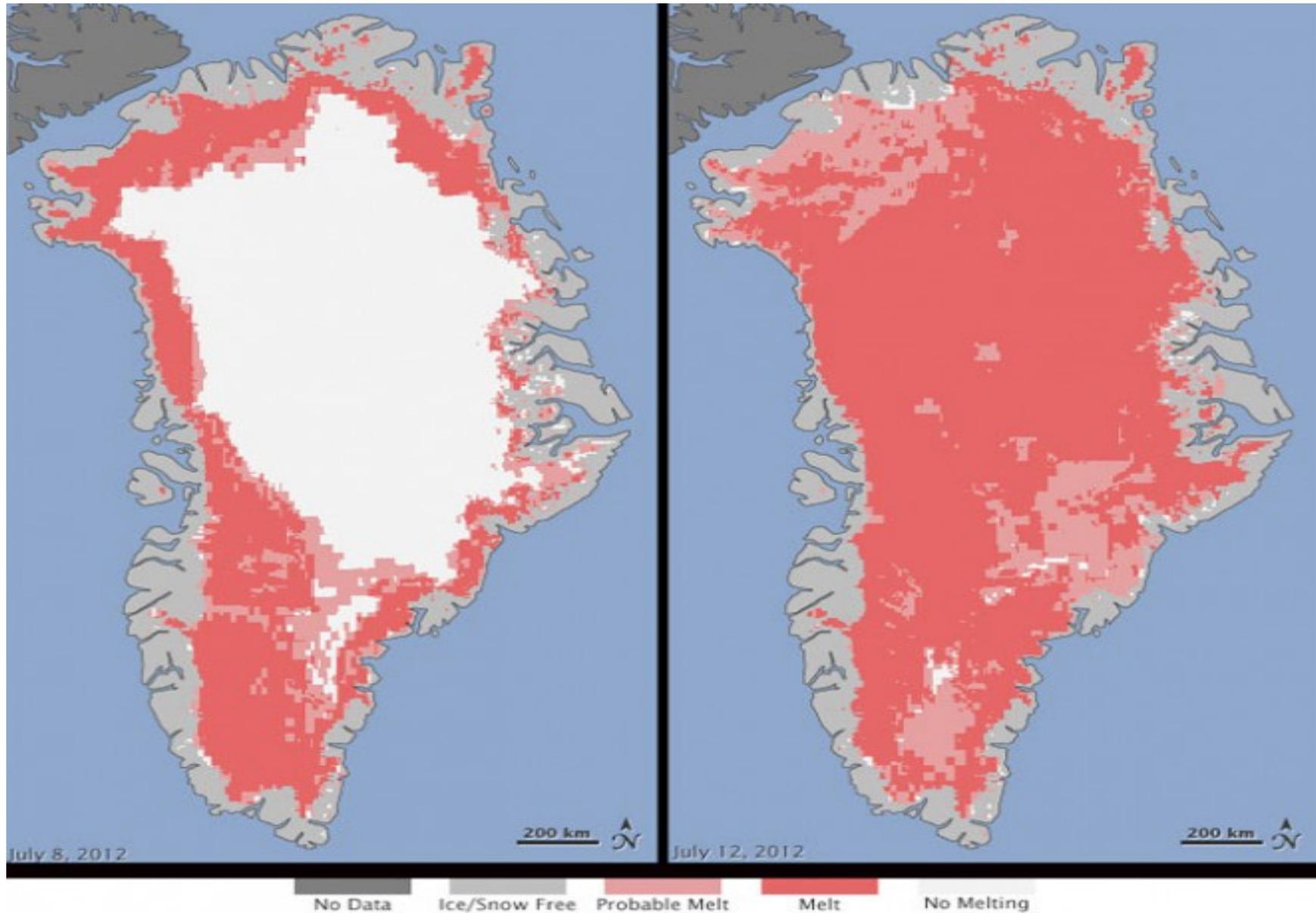
安い石油の時代は終わった (IEA)

2月までは円高が原油高騰を相殺

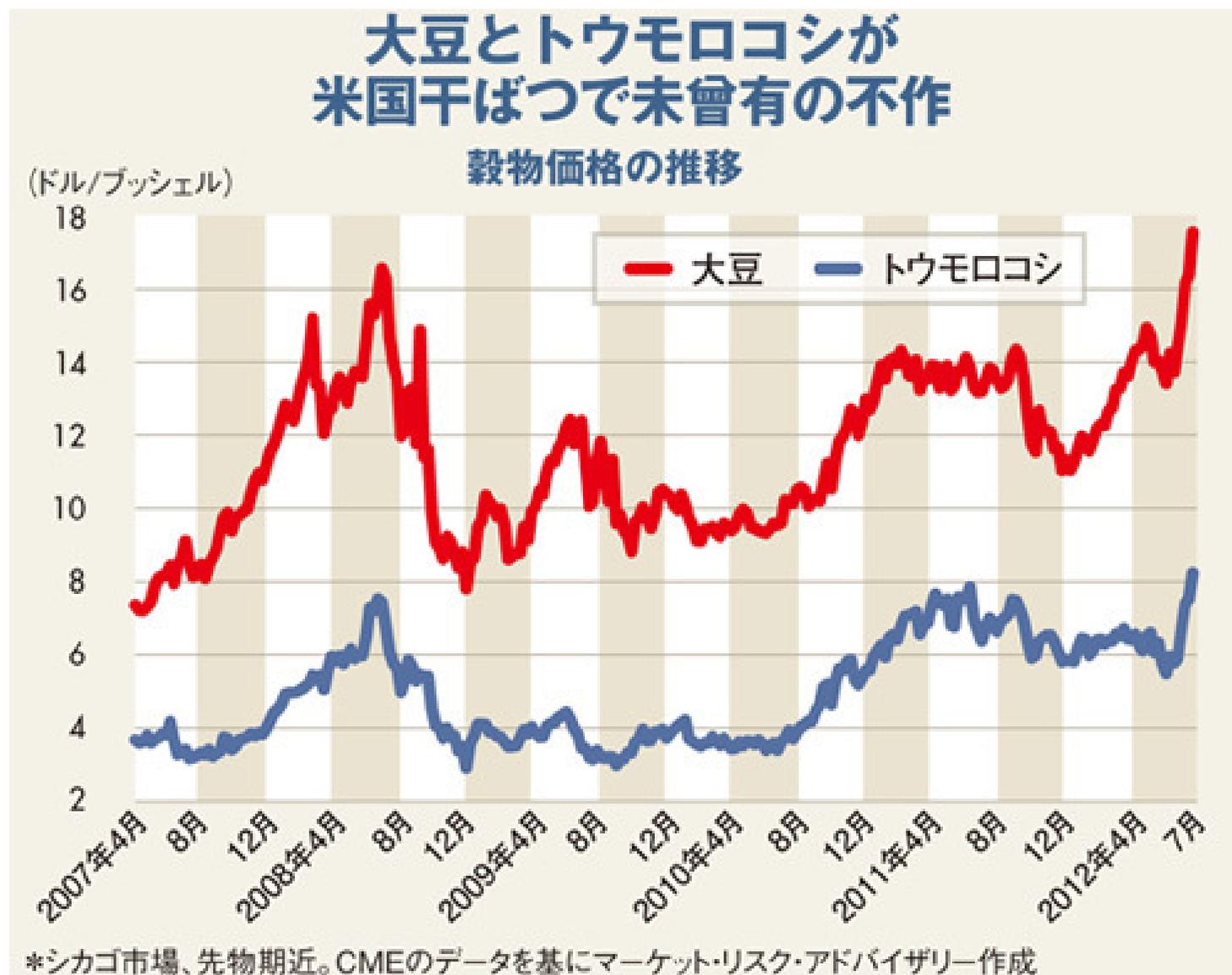


*CIF価格、旬間(各月上・中・下旬)ベース。2012年3月は中旬分まで
出所:石油連盟、財務省貿易統計

グリーンランドの氷床が融解

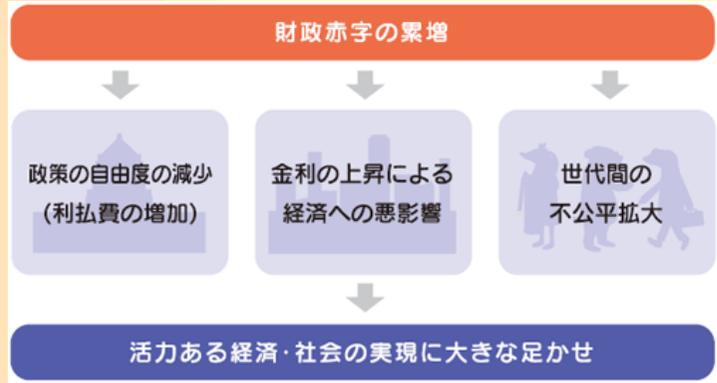
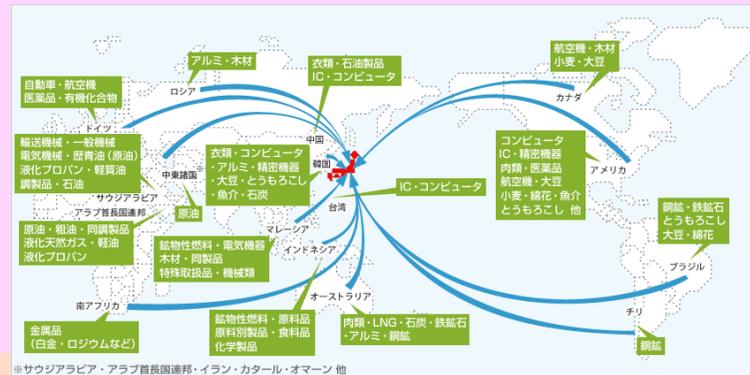


穀物価格も記録的な高騰



閉塞国家日本を襲うトリレンマ

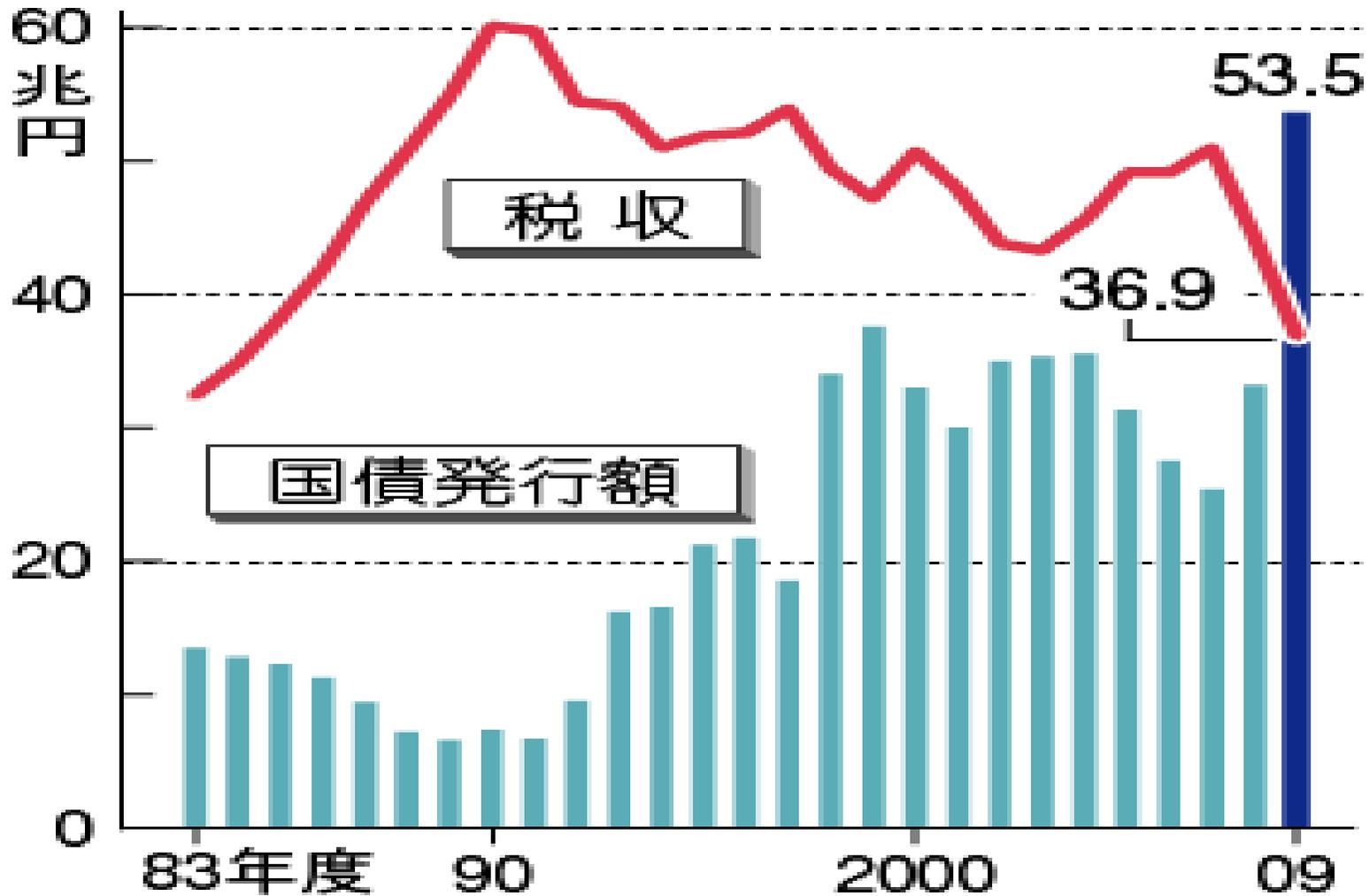
1) 資源と食糧を輸入に頼る危うさ



2) 産業の空洞化

3) 膨大な財政赤字

赤字国債で支えている日本経済の実態



出典:時事コム: [図解・行政] 国債発行額と税金の推移

必要なのは自助

百獣の王ライオンは、親から狩を教わる。



アメーバなんて、誰に教わることなく捕食する。



都市生活者は、採取して食べることを知らない！

北九州：生活保護打ち切り・餓死事件：対策会議が現地調査



北九州市で男性が生活保護を打ち切られて餓死した事件で、市の対応について疑念が広がっている。ホームレス支援団体の「もやい」に続いて、先月に発足したばかりの「生活保護問題対策全国会議」（大阪市北区、代表幹事・尾藤廣喜弁護士）は15日、「北九州市は事実を検証し、責任の所在を明らかにせよ-辞退届により保護を打ち切られた男性の孤独死事件を受けて-」と題した緊急声明を発表した。同時にホームページ内に事件のコンテンツを立ち上げ、真相解明に乗り出している。

同会議事務局では「北九州市の生活保護行政については厚生労働省から担当者が出向して適正化の指導をしていたがそれにも関わらず、こうしたことがまた起こってしまったのは保護の切り捨てをはかろうとする国の姿勢があらわれた象徴的な事件だ」としており、下旬にも同市と厚労省に対して公開質問状を出して真相解明を求めていく。

都市生活者には、もっと、農力が必要だ！



百獣の王ライオンは、親から狩を習います。単細胞生物のアメーバは、誰に教わることもなく餌を捕食します。なのに万物の霊長と自負する我々は、自然の恵みを自ら採って頂く術を知らないで、何の憂いもなく平然と生きています。



もしかするとそれは英語を話せないより、パソコンを打てないより、人間としてより基礎的な能力の欠如なのではないでしょうか。

近代以降の社会は分業で成り立っていると反論があるかも知れませんが、しかしそういうあなたは、お金の奴隷になっていませんか。職場で(倫理道徳に反するような?)無理難題を押し付けられても「NO!」といえずに、会社にしがみついていますか。



そうです、農力はNO! 力。くれぐれも「おにぎり食べたい」なんて言い残して、孤独死することのないように。

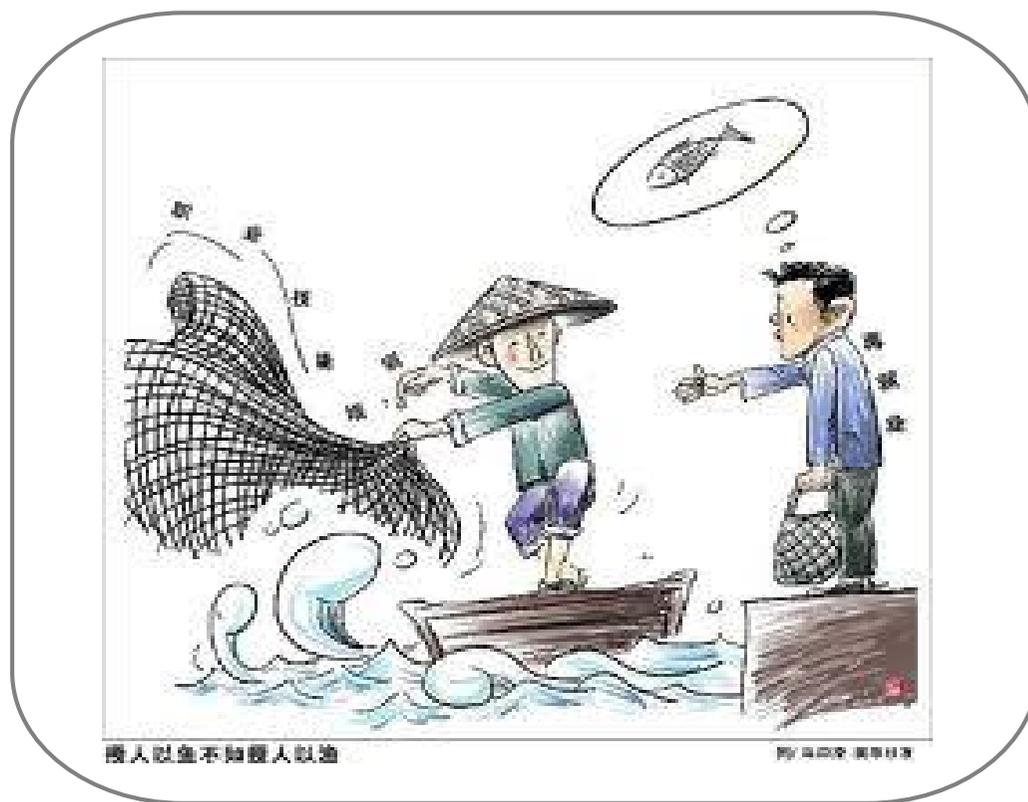
…都市生活者には、もっと「農力向上」が必要なのです。



持続可能な自給共生型社会へのソフトランディング！

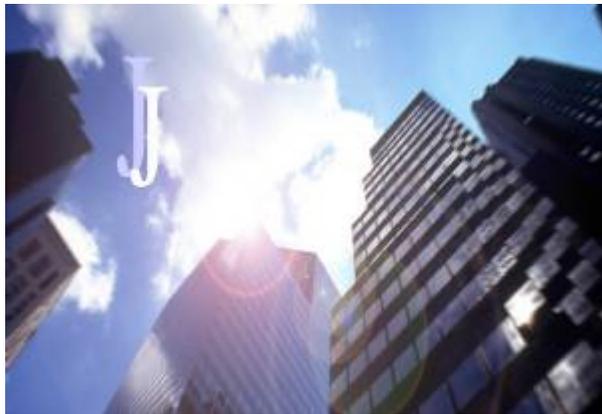
国民負担による社会保障に替わる「自給共生」を

老子曰く：授人以魚 不如授人以漁



検定では：授人以**金** 不如授人以**農**

地縁・血縁が断たれ金の切れ目が縁の切れ目に



➡
無縁社会



地縁血縁が切れ
金縁だけの繋がり

好況 ↑ ↓ 不況



従来：農山漁村が労働者吸収

だから
←
農力向上



今：失業 貧困のすべり台社会

打開策は「都市生活者の農力向上！」

農業支援

ベランダ菜園



市民農園



週末農業

半農半X / 就農



農力検定創設の狙い

田畑を、都市生活者が農力(自給 & 共棲力)
を身に付ける教育フィールドと見做すことで、

新たな雇用の創出

農家の保護育成

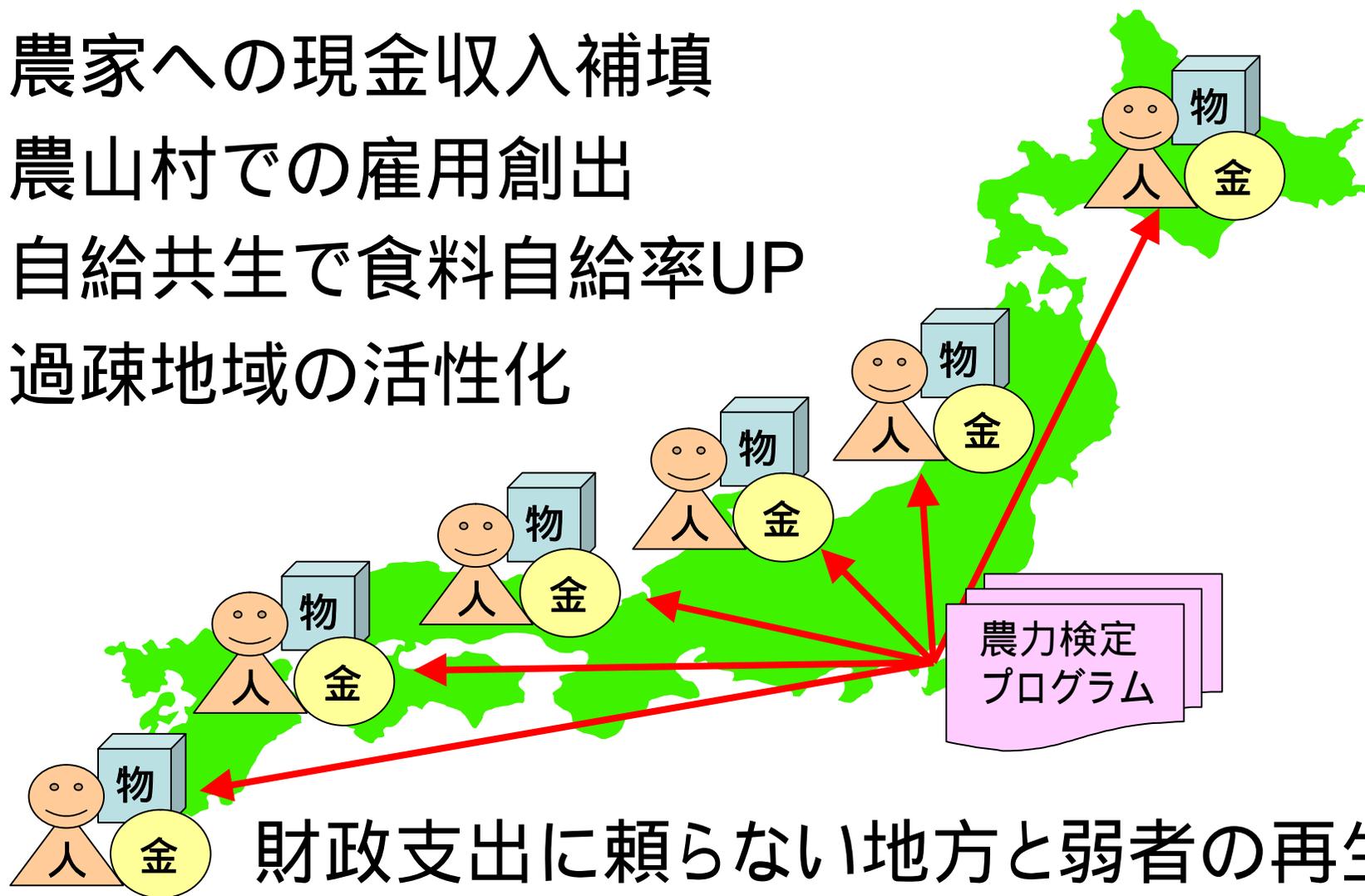
農山村の活性化



を同時に解決する。

田畑を農力向上の教育フィールドに！

- ・農家への現金収入補填
- ・農山村での雇用創出
- ・自給共生で食料自給率UP
- ・過疎地域の活性化



財政支出に頼らない地方と弱者の再生！

いまままでの経過。

市民参加型農園フォーラム（2010年12月）

- * 日時: 2010年12月2日(木) 13:30 ~ 16:30
- * 場所: 東京国際フォーラムG410会議室
- * 来賓挨拶: 農村振興局農村政策部都市農村交流課
都市農業室室長 杉中淳(すぎなかあつし)氏
- * 基調講演「これからの市民農園の展望」
都市農山漁村交流活性化機構専務理事 齋藤章一氏

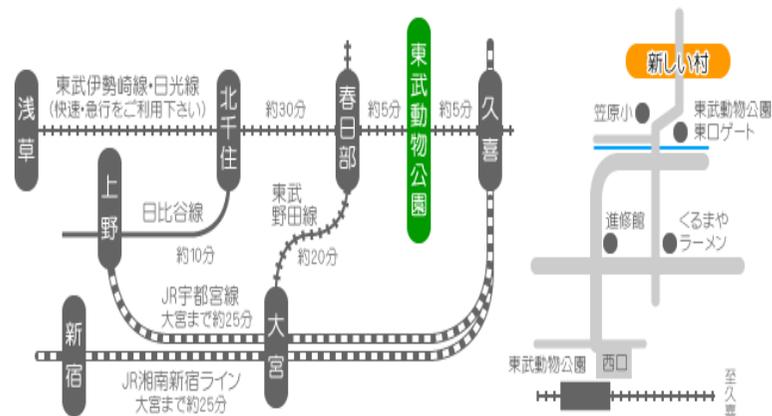


震災復興緊急フォーラム（2011年4月）

- * 催名：東日本大震災対応緊急フォーラム“震災復興大作戦！”
- * 日時：2011年4月5日（火）11:00開演～20:00終了
- * 場所：霞ヶ関ナレッジスクエア（霞が関コモンゲート西館3階）
- * 主催：新しい公共をつくる市民キャビネット農都地域部会
- * 事務局：NPO事業サポートセンター内「緊急フォーラム」
- * 参加者：130余名
- * 参加費：カンパ（1口1000円）
 - ・必要経費を除き震災復興支援金に寄付しました。



震災復興！チャリティ収穫祭（2011年10月）



= 概要 =

* 日程：2011年10月1日（土）*

場所：埼玉県宮代町新しい村
（東武動物公園駅下車徒歩15分）

* 来場参加費：無料 *

主催：株式会社新しい村
（実行委員長：島村社長）

* 共催：埼玉県宮代町

* 企画：農力向上大作戦！実行委員会



耕作放棄地再生サミット（2012年1月24日）

催名:耕作放棄地再生サミット(自給共生社会を目指して)

日時:2012年1月24日(火)

・第1部:17:00~<取組希望団体/市町村議員/行政担当者/対象>

・第2部:19:00~21:00<一般都市生活者対象>

場所:霞が関ナレッジスクエア(虎ノ門駅11番出口徒歩5分)

主催:一般社団法人 都市生活者の農力向上委員会(2011年12月設立)

共催:

・特定非営利活動法人えがおつなげて

・特定非営利活動法人ピーグッドカフェ

・種まき大作戦実行委員会

農力向上大作戦！耕作放棄地再生サミット

■諸団体の活動紹介

- ・佐藤洋 氏(山梨県都留市産業観光課)
- ・林良樹 氏(農事組合法人 鴨川自然王国)
- ・ハッタケンタロー 氏(種まき大作戦/麦まき大作戦)
- ・大塚洋一郎 氏(特定非営利活動法人 農商工連携サポートセンター)
- ・白石真一 氏(株式会社千葉農産)
- ・竹本亮太郎 氏(株式会社キュアリンク檜原再生プロジェクト)
- ・古屋富雄 氏(神奈川県南足柄市農業委員会事務局)
- ・諸田三比呂 氏(株式会社新しい村)
- ・高安和夫 氏(銀座ミツバチプロジェクト「みつばちの里づくり」)
- ・仲野忠晴 氏(NPO法人「畑と田んぼ環境」再生会)
- ・開澤真一郎 氏(特活:日本国際ワークキャンプセンター[NICE])



脱成長シンポジウム（2012年2月19日）

- *日時：2月19日（日）10：00～18：00
- *場所：國學院大學渋谷キャンパス常磐松ホール
- ・共生社会システム学会
- ・NPO法人 アジア太平洋資料センター（PARC）
- ・「環境・持続社会」研究センター(JACSES)
- ・アースデイ東京 アースダイアログ・プロジェクト



農力検定出版記念交流会（2012年7月11日）

* 日時：7月11日（水）17：15～21：00

* 場所：ちよだプラットフォームスクエア（竹橋）

* 発起人

・ 木内孝氏（株式会社イースクエア会長）

・ 森撰氏（雑誌「オルタナ」編集長）

・ ハッタケンタロー氏（種まき大作戦実行委員会）

* 講演：金子美登氏（小川町） / 塩見直紀氏（綾部）

* 来賓挨拶：石田三示氏（新党きづな衆議院議員）



農力検定 テキスト

金子美登・塩見直紀 著
都市生活者の農力向上委員会 編

農力検定 | 必要度セルフチェック

- ベランダでも庭でもいいので、有機栽培にチャレンジしたい。
- 主食のだから、田植えや稲刈りくらい手伝いたい。
- 半農半Xに憧れるが、きっかけがつかめない。
- 土を触ると癒されると聞いたけれど、本当なのか確かめたい。
- 食料の安定供給を海外に頼るのは、危険だと思う。
- 農業や化学肥料が本当に必要なのか、確かめたい。
- いざというときでも、食べることに困らないお百姓が羨ましい。
- すべてが金で解決できる時代は、間違っている気がする。
- 大量生産・大量消費による経済成長には、限界があると思う。
- 他人任せな食の安心・安全より、顔の見える信頼関係を大事にしたい。

都市生活者には、
もっと「農力」が
必要だ!

コモンズ

寺家ふるさと村休耕田再生（2012年6月～）



これからの展開。



のり 力向上大作戦!

耕作  **放棄地再生** 

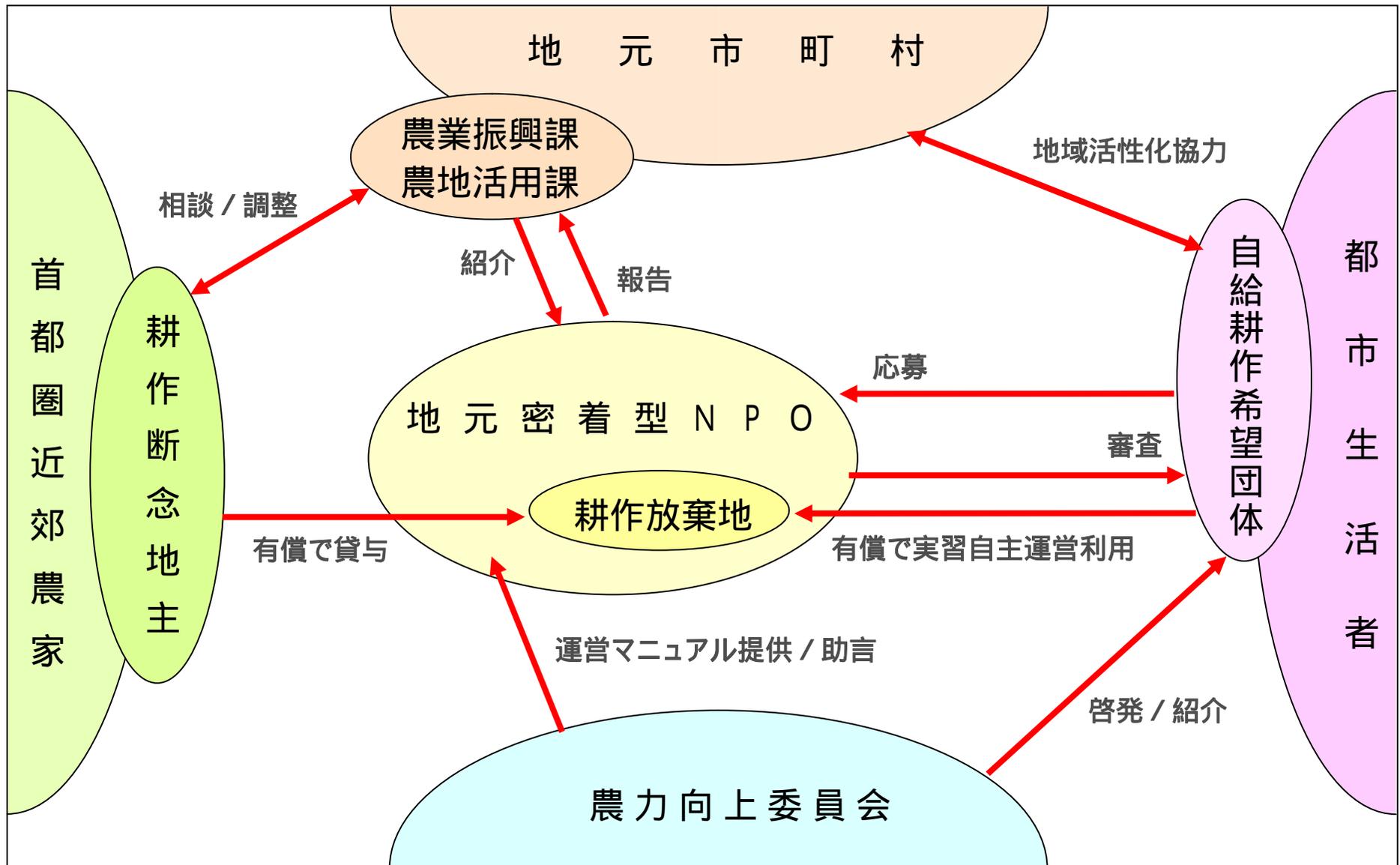


平勤休農キャンペーン（2012年10～11月） 今秋、首都圏一円で安近通な農作業体験をしよう！



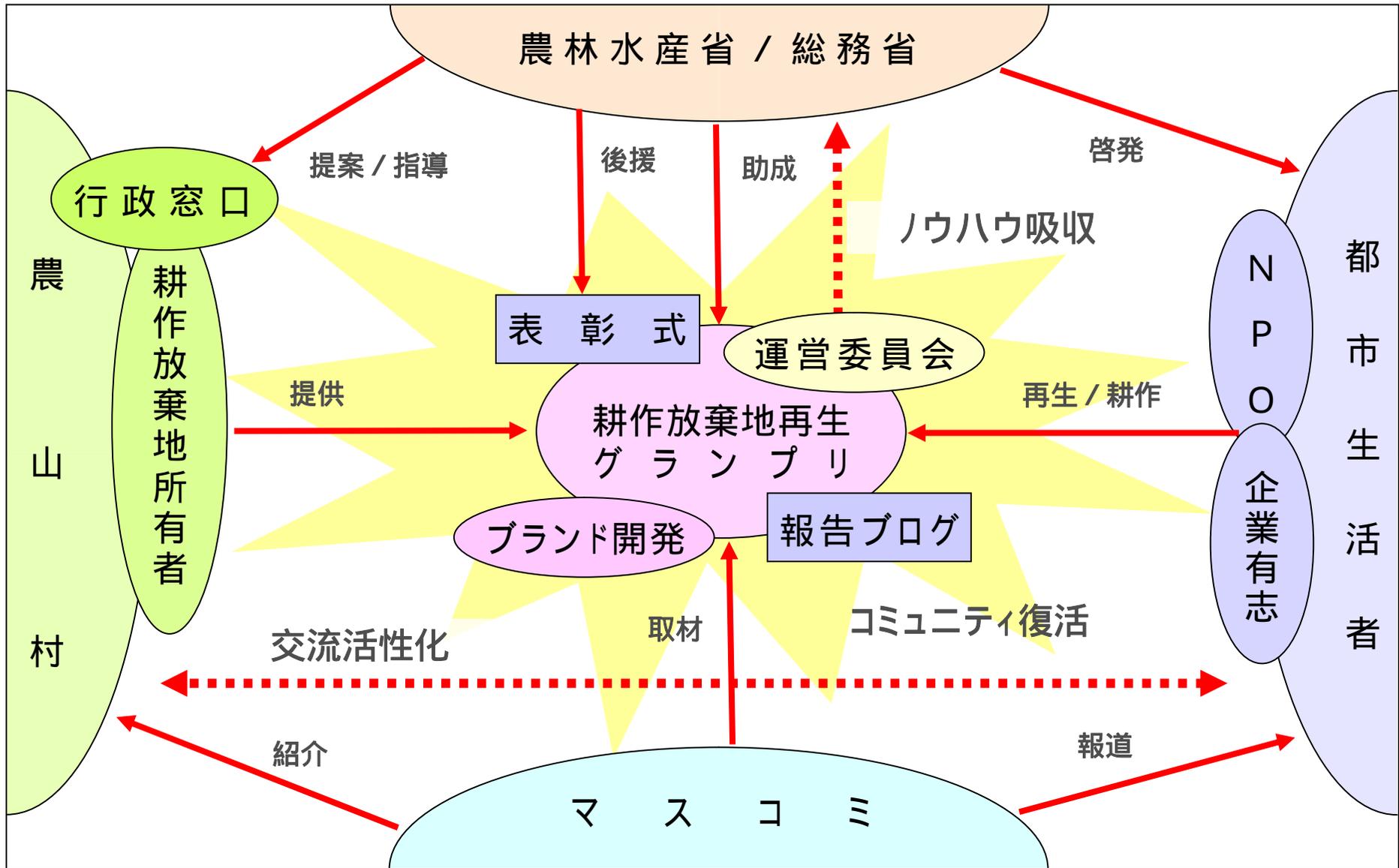
- 銀座線
- 丸ノ内線
- 日比谷線
- 東西線
- 千代田線
- 有楽町線
- 半蔵門線

耕作放棄地で有機農作業実習運営トライアル（構想） チームで借りて有機農作業実習の自主運営にトライ！



耕作放棄地再生グランプリ：年間活動表彰（構想）

活動団体のコミュニティ・デザイン力を審査＆評価

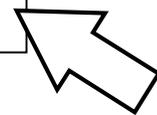


『農力検定』のいままで&これから



>>> つづきはウェブで。

農力向上委員会



検索!